



平成10年度指定 高指第90号

# 内島 正雄

【雅号】 正雄 まさお

生年／昭和17年 指定技術名／漆器・彫刻塗



ついでに「しょうじょう」

## 衝立「狸々」

江戸時代中期から伝承されている彫刻彩色塗の技法を用いて能の世界を優美に表現している。背景の黒、衣装に用いられた蒔絵、彩色塗により、「狸々緋」と呼ばれる非常に鮮やかで濃い赤を際立たせている。作者は、彫り味を生かすため、生漆を摺上げた技法や、伝承の彩色塗技法などに磨きをかけ、湿度による顔料変化等の技術改良に努め、優れた作品を多く生み出している。

平成20年作

素材・技法／漆・本堅地、彫刻塗、蒔絵

寸法／高さ115cm×幅111cm×奥行36cm

【表彰・受賞歴】

- 昭和44年 全国漆器展労働大臣賞  
(以後、1回受賞・25回入賞)
- 昭和45年 富山県デザイン展デザイン大賞  
(以後、2回受賞・4回入賞)
- 平成 2年 高岡クラフトコンペ漆クラフト賞  
(以後、7回入選)
- 平成 8年 日本伝統工芸富山支部展初入選  
(以後、連続入選、多数入賞)
- 平成10年 日本伝統工芸展初入選  
(以後、連続入選、多数入賞)
- 平成18年 日本漆器協同組合連合会組合功勞者表彰
- 平成19年 全国漆器展農林水産大臣賞
- 平成20年 高岡市市民功勞者表彰
- 平成21年 富山県功勞者表彰
- 平成27年 卓越した技能者「現代の名工」表彰
- 平成28年 黄綬褒章
- 平成28年 日本伝統漆芸展MOA美術館賞
- 平成30年 日本伝統漆芸展MOA美術館賞
- 令和 2年 日本伝統漆芸展東京都教育会長賞
- 令和 2年 富山県「伝統工芸の匠」認定

【経歴】

- 昭和34年 父修蔵に師事し彫刻塗を習得
- 昭和49年 独立自営、現在に至る
- 昭和56年 伝統工芸士に認定
- 平成 7年 高岡市伝承技術研修会受講(講師増村紀一郎乾漆技法習得)
- 平成 8年 高岡漆芸みどり会会長
- 平成 9年 高岡市伝統的工芸品技術・技法の継承者育成事業講師
- 平成11年 高岡市伝統工芸産業技術保持者指定
- 日本工芸会正会員に認定
- 高岡市市民工芸実習講師
- 平成13年 高岡市文化財有職正八幡宮御輿修理(塗担当)
- 平成16年 富山県卓越技能院理事
- 平成18年 全国山・鉾・屋台保存連合会技術者会会員
- 平成19年 重要有形民俗文化財高岡御車山二番町車輪修復(塗担当)
- 平成21年 高岡市伝統工芸産業人材養成スクール講師(乾漆、きゅう漆)
- 平成26年 高岡市伝統工芸産業希少技術継承事業育成者(～28年)